

科目分類	助産学基礎科目		開講時期	1年 前期		
授業科目	助産学概論					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	木下 珠希					
メールアドレス	t-kinoshita@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	事前にメール連絡してください。			

到達目標	<p>1) 助産の意義と基本概念について説明できる。</p> <p>2) 助産の変遷を踏まえ、助産師活動を説明する。</p> <p>3) 助産師の責務・役割、倫理について考察できる。</p> <p>4) 助産とは何かを考察し、自己の助産師観について説明できる</p>
授業概要	<p>助産の概念と定義及び意義、職業としての助産師の身分と発展、母子保健と助産及び助産師教育の変遷と現状、助産学を構成する理論、助産学研究の意義と方法論等を理解し、助産師の役割と責任について認識する。</p>
授業内容	<p>第1～2回 助産・助産師とは ：定義、業務・責務、助産の対象</p> <p>第3～4回 助産の歴史、母子保健の動向と課題（日本・世界） ：助産の歴史 母子保健の歴史、動向、母子保健施策</p> <p>第5～6回 助産実践の倫理、女性の健康と人権 ：助産師と職業倫理、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ</p> <p>第7～8回 助産師職能団体の活動 「国際助産師の日」参加：6月10日（予定）</p>
教科書・参考書等	<p>教科書：助産学講座1 基礎助産学〔1〕助産学概論、医学書院</p> <p>参考書：授業内で随時紹介する。</p>
成績評価基準・方法	筆記試験 50%、レポート 50%
履修要件	なし
留意事項・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理に留意し、講義・演習・実習に臨む姿勢を確認して授業に臨んで下さい。 ・「周産期の生命倫理」「地域母子保健論」「助産研究」「助産管理」等の科目とともに助産師としての倫理、母子保健についてさらなる学びを深めてください。 ・助産師のアイデンティティーを形成していく上で、この科目では「考える」「意見交換」等、大切にしていきます。